

## 【2026 年度 薬科学部 医療ビジネス薬科学科】

### 教育方針

#### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

医療ビジネス薬科学科では、建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」に則り、ヘルスケアの専門家として、幅広い知識と実践力のある人材を育成するために、卒業時に以下の資質・能力を身につけた者に対し、学位を授与します。

##### 1. ヘルスケア関連分野に貢献できる基本的資質（知識・技能）

- (1) ヘルスケア関連分野で必要とされる医療、健康、生活及びビジネスに関連する幅広い専門知識を有し、個々の生活者のウェルビーイングの実現に寄与する能力を身につけている
- (2) 地域社会から国際社会にわたる広い視野に立つことができ、他者との適切なコミュニケーションを図りながら、ヘルスケア関連産業や医療機関に積極的に参画できる能力を身につけている

##### 2. ヘルスケア関連分野に貢献できる実践能力（態度）

- (1) 薬学の知識を持ったヘルスケアの専門家として、前向きな意欲と態度をもって自己研鑽に励み、思考力・判断力・表現力を身につけ、責任をもって行動することができる
- (2) 各コースの特徴・内容・専門性を理解し、実践できる能力を身につけている

##### 3. ヘルスケア関連分野における問題発見・解決力

- (1) ヘルスケアを取り巻く社会情勢を認識し、主体性をもって自ら考え、問題を発見し、それを解決する能力を身につけている

##### 4. 疾病のみならず未病段階にまで視野を広げた統合医療を実践できる能力

- (1) 西洋医学のみならず漢方・伝統医学などを融合した統合医療を理解し、その成果を医療や地域社会に還元できる能力を身につけている

#### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

日本薬科大学は、学園の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、医療ビジネス薬科学科の教育目標を達成するために、以下の方針に基づいて4年間の教育課程を編成し、教育を実践します。

1. 教育課程は、薬学系教育科目とビジネス系科目を2本の柱として、それぞれ順次性をもって編成する。
2. 低学年から、医療事務系資格およびビジネス系資格の取得可能なカリキュラムを編成することにより、本学科生の勉学へのモチベーションの向上を図る。
3. 全学年にわたり、コミュニケーション能力の育成とキャリア教育の充実を図る。

4. 専門性を深めるために、情報薬学、ビジネス薬学、韓国薬学、スポーツ薬学及び栄養薬学コースの 5 コースそれぞれの独自科目を置く。
5. 成績評価は、科目の特性に応じて適切かつ多様な評価方法と基準を設ける

学修成果については、講義や演習の各科目のシラバスに記載された到達目標の達成度を評価方法（試験や課題レポートなど）に基づいて評価します。実習、実技、フィールドワークなどの科目では、レポートや研究発表などにより各科目の学修到達度を評価するための指標（ルーブリック等）を用いて評価します。DP に掲げた資質・能力への到達度の総合的評価は、学年進行時に各 DP（DP1～4）の到達度を評価するための指標（DP ルーブリック）を用いて自己評価を行います。それと同時に、DP1～4 に関する卒業時の最高到達度（累積 GPA）を基準として、各 DP1～4 に対する各科目との関連性（寄与度）に基づいて到達度を算出することにより、個々の学生および学年集団の DP1～4 に関する総合的到達度の客観評価を行います。これら学修成果の評価は学修ポートフォリオとし、学生が自身の学修を振り返り、改善する機会を提供します。また、アドバイザー教員は、学生の個々の達成度や将来の計画に応じた学修を支援します。

## 入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー：AP）

学園の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、医療ビジネス薬科学科の教育目標を達成するために、多様な選抜を実施することにより、以下の資質をもつ者を受入れる。

1. 高等学校の教育課程を幅広く修得しており、特に国語、数学、理科、英語の基礎的な内容を身につけている。
2. 身の周りの問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え自分なりの結論を導き、説明することができる。
3. 医療ビジネス薬科学科の知識や経験を持って、社会に貢献したいという明確な目的意識と意欲がある。
4. 入学前教育として求められる、必要な基礎的な知識を身につけるためのプログラムに最後まで取り組むことができる。